

編集長はあなた自身。この秋、“SPBS 編集ワークショップ”があらたな形で復活します。

SPBS

THE SCHOOL

# SPBS 編集 ワークショップ 2020

2020年11月ー  
2021年3月開講

土曜または日曜日の9:00-12:00

お申込みはWEBにて！  
受付〆切:10月26日(月)

世の中のありとあらゆるものを編集する企業・SPBSが、1冊の雑誌作りを通して「編集」の醍醐味を体感する「編集ワークショップ」を開催します。編集長は自分。一人ひとりが、自分が作る雑誌の責任者となって、1冊の雑誌を制作します。プロの編集者やライター、フォトグラファーから編集の極意を学び、自分の中にあるテーマを浮かび上がらせ、深く掘り返しながら、全12回のカリキュラムで1冊にまとめていきます。

## 「編集」ってなんだ？

message from SPBS

SNSやブログ、note、音楽のプレイリスト、スマホカメラのアルバムなど、日々の生活の中でもはや「編集ボタン」をクリックしたことがない人はいない時代に、あえて雑誌の「編集」を学ぶのはなぜでしょうか。

「編集ボタン」での編集は、失敗したら元に戻せたり、気が変わったら簡単にやり直せたり、特に深く考えず気軽にアウトプットができることが魅力です。

しかし、アウトプットしたものが帯びる熱量は、そこにかけたエネルギーと執念に比例するというのを、「編集者」は知っています。特に、紙媒体に関しては、一度印刷してしまえば、後戻りができません。それが一人歩きします。その怖さを知っているから、一つの原稿を仕上げるのに、編集者、執筆者、取材対象者や校閲者など、複数の目で何度も推敲し、のべ100回くらい叩いて磨きます。それだけの覚悟と執念を込めたものと、寝転びながらワンクリックしたものとでは、おのずと密度が違ってきます。

文章やデザインの巧さは、必ずしもかけた時間には比例しませんが、熱量は、効果的に「編集」すればちゃんと伝わります。本当にこのテーマでよいのか？ もっと別の切り口はないか？ もっとうまい伝え方はないか？ 自問自答を繰り返しながら、何度も考えることで、アイデアや思いを磨き上げることを一通り体感すると、ものごとの見え方・捉え方がより豊かになり、仕事でも普段の生活の中でも、気づきが増えていきます。

編集長はあなた自身。

1冊の雑誌をつくることで、ものごとを客観視する目が養われる。  
1冊の雑誌を通して、自分の本質が見えてくる。

「編集」のやり方は、人の数だけあり、同じ「雑誌編集者」でも、人によってやり方は異なります。正解は一つではありません。自分の責任において全ページを作る怖さと楽しさと喜びを味わいながら、あなたなりのやり方で、あなただけのかけがえのない雑誌を、仲間と一緒に作ってみませんか？

## カリキュラム

<b>Process01.</b> 編集総論	第1回	「写真を語る、写真で語る」
	第2回	「編集ってなんだ?基礎編」
	第3回	「編集ってなんだ?応用編」
	第4回	「本はすべてを知っている」
<b>Process02.</b> 目次・台割りづくり	第5回	「おいしそうな目次、
	第6回	買いたくなるタイトル①②」
<b>Process03.</b> 取材・編集	第7回	「取材入門①」
	第8回	「取材入門②」
	第9回	「復習の時間」
<b>Process04.</b> デザイン	第10回	「伝えたいから魅せるんだ
	第11回	エディトリアルデザイン入門①②」
<b>プレゼンテーション</b>	第12回	「製作雑誌発表会」

※ゲスト講師は後日SPBSの公式HPにて発表

## ワークショップ概要

- 会場 オンライン配信 (Zoomウェビナー) \*見逃し配信あり
- 開催期間 2020年11月~2021年3月(全12回)土or日曜
- 定員(ワークショップ) 20名(先着順)
- 受講料 160,000円(税別)/雑誌印刷代込み[B5判カラー16ページ]

・SPBS BOOK事業部にセレクトされた受講生の雑誌は、SPBS各店で定期販売可能  
・雑誌は本ワークショップ所定の判型・印刷となりますが、オプションで判型やカラーを変更することも可能です。

## 申込み方法

1. 「SPBS編集ワークショップ2020」特設ページの申込みフォームより、必要事項を記入し申し込みください。
2. お申し込みフォーム到着後、受講手続き方法に関するメールを土日祝日を除く3日以内にご連絡します。
3. 講座料の入金を確認し、申し込み完了となります。

お申し込みはSPBS公式HPの特設ページ(右QRコード)より→



## カリキュラム

開講時間：9:00-12:00@オンライン \*見逃し配信あり \*ハイブリット型(対面+オンライン)開催の講座あり

### Process01.編集総論

第1回	11/14(土)	『写真を語る、写真で語る』	写真を通して見えてくる自己意識や、1枚の写真で伝わること、並びを通して伝わることなど写真から見えてくる自己と他者の関係性やコミュニケーションとしての写真と編集について学びます。	岡本仁さん(編集者) 濱田英明さん(写真家)
第2回	11/21(土)	『編集ってなんだ?基礎編』	写真、文章、イラスト、デザイン、印刷、販売……雑誌ひとつにもさまざまな工程があります。実態を一言で説明することが難しい“編集”とはそもそもなんなのか? 出版社を退職後も尚、“編集者”という肩書きであらゆるものごとの編集に関わる岡本仁さんによる、入り口の編集論、基礎編+応用編。	岡本仁さん(編集者)
第3回	11/28(土)	『編集ってなんだ?応用編』		岡本仁さん(編集者)
第4回	12/5(土)	『本はすべてを知っている』	自分にとって重要な意味を持つ本を7冊選び、そのうちの1冊を紹介しします。なぜその本なのか、タイトルや目次、作者、ストーリー、メッセージ、デザイン等、自分にとって何が響いているのかを客観視することで、雑誌の企画の種を探します。	幅允孝さん (ブックディレクター)

### Process02.目次・台割づくり

第5回	12/12(土)	『おいしそうな目次、	限られた情報量で、ものごとを伝えるとき、軸となるのはタイトルと目次。明確に伝えたいことを設定し、どんな人にどのように届けたいのかを考え、“伝える”タイトル、コンテンツ、構成を考えます。	福井盛太 (SPBS代表)
第6回	12/19(土)	買いたくなるタイトル①②』		西山萌 (SPBS)

### Process03.取材・編集

第7回	1/9(土)	『取材入門①』	誌面を深める上でひとつの要になるのが良い“問い”が立てられていること。問いを立て、取材のなかでキャッチボールをして、人の話を文字にしていく、インタビューのコツを学びます。 *第9回のみ日程変更の可能性あり。	佐久間裕美子さん (文筆家)
第8回	1/17(日)	『取材入門②』		シークレットゲスト
第9回	2/13(土)	『復習の時間』		

### Process04.デザイン

第10回	2/20(土)	『伝えたいから魅せるんだ	伝えるためのデザイン、魅せるためのデザインのコツを学びます。デザインソフトはAdobeのIllustratorをはじめ、MicrosoftのPowerpointなどの使用もOK。まずは目次と表紙をエディトリアルデザインの視点で考え、余裕がある人は本文についてもデザインしていきます。	岡本健さん (グラフィックデザイナー)
第11回	3/14(日)	エディトリアルデザイン 入門①②』		

### Process05.プレゼンテーション

第12回	3/27(土)	製作雑誌発表会	各自が製作した雑誌をプレゼンテーション、講評。	○
------	---------	---------	-------------------------	---

\*各回のタイトル・内容は変更になる場合があります。

### “心を開いて、流されてみよう。”編集者・岡本仁さん、SPBS福井盛太によるオープンガイダンスを開催しました。

不透明な時代だからこそ、自分を見つめ、自分を知り、興味に従い、流されてみる。先行きの見えない時代をしなやかに生き抜いていくための軸となる“編集でできること”について考えていきます。



岡本仁さん  
(編集者)

編集者。北海道夕張市生まれ。マガジンハウスで『BRUTUS』『relax』『ku:nei』などの雑誌編集に携わった後、ランドスケーププロダクツに入社。同社の「カタチのないもの担当」として、コンセプトメイクやブランディング、書籍制作、雑誌連載など、活動の幅を拡張し続けている。著書に『今日の買い物・新装版』(講談社)、『果てしない本の話』(本の雑誌社)、『ぼくの東京地図』『また旅』(共に京阪神エルマガジン社)など。  
Instagram:@manincafe



福井盛太  
(SPBS代表)

1967年愛知県豊橋市生まれ。91年3月早稲田大学社会科学部卒業。株式会社プレジデント社を経て、2003年、フリーランスの編集者に。2004年編集プロダクション『EDIT\_』設立。その後、金融情報誌の副編集長業務や出版社のwebコンテンツのディレクション、IT企業の経営コンサルティングに複数の雑誌、単行本の企画編集作業に携わり、2007年9月、堀江貴文氏と共にSHIBUYA PUBLISHING & BOOKSELLERS(SPBS)を設立。現在は、株主兼最高経営責任者として会社経営を統括しながら、新規事業開発にも積極的に取り組んでいる。  
Twitter:@seita\_spbs

\*講師詳細情報はWEBにて発表。